答え 10月24日 今日は何の日クイズ

赤い字が答えです



文鳥の日にちなんで「小鳥クイズ」

【第1問】昔話「舌切りすずめ」。やさしいおじいさんが選んだつづらは？

① 大きいつづら　② 小さいつづら　③ 選ばなかった

おじいさんは小さいつづらを選び、中にはたからものが入っていました。欲ばって大きいつづらを選んだおばあさんのほうには、おばけが入っていましたね。

【第2問】文鳥（ぶんちょう）は、もともとどこの国にすんでいた鳥でしょう？

① 日本　② インドネシア　③ ブラジル

文鳥は、インドネシアのジャワ島やバリ島にすむ鳥です。江戸時代に日本へ伝わり、手のりの小鳥としてかわいがられてきました。

【第3問】春に「ホーホケキョ」と鳴く鳥はどれでしょう？

① メジロ　② スズメ　③ ウグイス

ウグイスです。「春告鳥（はるつげどり）」とも呼ばれます。鳴き始めは「ホー、ホケ…」と、まだ上手に鳴けないこともあります。

【第4問】「すずめの涙」。どんな意味でしょう？

① ほんの少し　② 悲しいお話　③ たくさん

小さなすずめが流す涙ほど、ほんのわずか、という意味です。「すずめの涙ほどのおこづかい」のように使いますね。

【第5問】「閑古鳥（かんこどり）が鳴く」。この閑古鳥とは、どの鳥のこと？

① カラス　② ハト　③ カッコウ

閑古鳥はカッコウのことです。山の静かな所で鳴く声がさびしく聞こえることから、お客さんが来なくてさびれている様子を「閑古鳥が鳴く」というようになりました。

【第6問】「〇〇は三歩あるくと忘れる」。〇〇に入る鳥は？

① ニワトリ　② スズメ　③ カラス

「ニワトリは三歩あるくと忘れる」。もの忘れが多いことのたとえです。忘れてしまったときは、笑ってこのことわざを言えば、場がなごみますね。

ねらい： 記念日の話題から、知っていることを思い出します。
声かけ： 『「今日は何の日？」から、話を広げてみましょう』
メモ： 答えのあと、うんちくを読み上げると話が広がります。

まいにち元気プリント道場
プリントのダウンロードはこちら →

まいにち元気道場 監修 作業療法士 石田竜生
© 株式会社おふとん　施設・教室・ご家庭で自由にコピーしてお使いいただけます